

case no.12

企業組合氷上つたの会

企業組合設立による法人化 社会的信用度もアップし、理事長の交代にも成功

company profile

設立年：2007年

事業内容：農産物加工品製造・販売、仕出し弁当の販売、直売所での軽食・喫茶

ザクッと言うと **3** ポイント

1. 中央会のサポートで企業組合を設立。組織化、社会的信用度アップ、理事長交代に成功した
2. 勉強会、講習会、視察研修会などに専門家派遣を活用している。
3. 今後は、新製品開発、販路開拓が課題となる。

企業組合設立を中央会がサポート

企業組合氷上つたの会は、地元の食材を使って「丹波お母さんの味」を発信している企業組合だ。発足は平成5年、地元で活動していたグループが集まり、漬物と草餅の販売からスタートした。兵庫県中小企業団体中央会（中央会）の支援をいかに利用されているのか、秋山佐登子理事長に話を伺った。

初代理事長の大木智津子さんの思いが実り、平成19年に法人化。平成22年に現理事長の秋山さんへとバトンをつないだ。中央会とは、法人化に当たり丹波農業改良普及センターから紹介されて以来の付き合いだ。



ここで「丹波お母さんの味」が生まれる

みんなで勉強しながら歩いてきた



秋山さん

地産地消を謳い活動するグループは多いが、法人化し成功している例は数少ない。秋山氏は「うちは早かったから」と謙虚だが、裏には大変な努力があったに違いない。添加物を使わず、地元丹波で採れているとき、旬のときしか作れないものを届けることにこだわる。「お母さんの味」とは言え家庭の味には留まらない。「うちにしか出せない味」のため研究を怠らない。

商品開発、販路の開拓にも意欲的に取り組んでいる。普通には出荷できないB級品の活用も行う。納豆菌に味噌の麹菌が負けそうになり慌てたこともある。テレビで取り上げられ、受注の多さにフル回転で頑張ったことも。70代を中心としたメンバーにとってイベントなど車で遠出するときはきつく、制約もある。しかし、高齢者が自ら働く場を創出し、さら

なる発展を目指す同組合の地域活性化に対する社会貢献度は高い。若手も少しずつだが増えてきた。リピーターのお客さんも多い。ふたりの理事長の頑張りが実を結ぼうとしている。

中央会は苦手な部分を補ってくれる

勉強会、講演会、視察研修会…中央会へよく頼みごとをするという。目当ての講師を招くために「専門家派遣事業」をうまく利用する。持ち前の行動力とフットワークの軽さで多くを吸収してきた。



中央会 寺本とは、組合設立以来のお付き合い

さらに、経営相談をしたり、仕入れ先を紹介してもらったり、商談会へ呼ばれたり、パンフレット製作をアドバイスしてもらったり…。届出書類の作成など事務系の苦手な部分を補ってくれ、「気軽に声掛けしてくれて、本当によくしてもらっている」と感じる。

イベントにもできる限り参加している。中央会主催で毎年催される「ひょうご特産品フェア」では常連だ。

今後とも今までどおりに付き合いしていきたいと考えている。「わからないことがあったら、とりあえず中央会さんに聞いてみる」と笑う。



優しい味わいの商品の数々

まだ利用していない中小企業や組合に対して「何でも気軽に相談してみられたら？と言ってあげたい」とおすすめの言葉をもらった。

担当者からひとこと

企業組合氷上つたの会さんに行くと、いつも、逆に元気をもらっているような気がします。年齢を感じさせないチャレンジ精神には敬服します。氷上つたの会さんのようなところが増えればもっと地域が活性化すると思います。また安心・安全な食品づくりが認められ、数々の賞を受賞されておられます。たくさんの種類の商品をつくられていますが、なかでも私のおすすめは「丹波大納言小豆100%草もち」です。ぜひ一度試してみてください。



担当者：寺本 次夫